

財政の正常化に総力を挙げた一年!

44,123千円の増益で10,151千円の黒字決算に!!

事業活動計算書 (抜粋)

(単位:円)

内 容		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)	前年比
※ 1 サービス活動増減の部	収 益	399,445,142	407,101,314	△ 7,656,172	98.12%
	費 用	393,400,617	442,360,926	△ 48,960,309	88.93%
	増減差額 (1)	6,044,525	△ 35,259,612	41,304,137	△ 17.14%
※ 2 サービス活動外増減の部	収 益	1,397,431	1,287,990	109,441	108.50%
	費 用	0	0	0	
	増減差額 (2)	1,397,431	1,287,990	109,441	108.50%
※ 3 特別増減の部	収 益	2,721,600	0	2,721,600	
	費 用	11,592	0	11,592	
	増減差額 (3)	2,710,008	0	2,710,008	
当期活動増減差額 (4)=(1)+(2)+(3)		10,151,964	△ 33,971,622	44,123,586	△ 29.88%
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (5)	187,911,117	221,884,781	△ 33,973,664	84.69%
	当期末繰越活動増減差額 (6)=(4)+(5)	198,063,081	187,913,159	10,149,922	105.40%
	基本金取崩額 (7)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額 (8)	18,408,541	0	18,408,541	
	その他の積立金積立額 (9)	17,441,039	2,042	17,438,997	854115.52%
	※ 4 次期繰越活動増減差額 (10)=(6)+(7)+(8)-(9)	199,030,583	187,911,117	11,119,466	105.92%

- ※ 1 サービス活動増減の部 法人運営事業や地域福祉事業、介護保険事業、障害福祉サービス事業など社協活動による収益と費用を表します
○ 4 ページにその詳細を紹介しています。
- ※ 2 サービス活動外増減の部 預金（基金）利息やコピー代収入など社協活動以外の収益と費用を表します
- ※ 3 特別増減の部 所有する車両や備品等の処分を行ったことによる収益と損失を表します
- ※ 4 次期繰越活動増減差額 前期（平成 28 年度以前）からの利益と当期（平成 28 年度）の利益を合算し、次期（平成 29 年度）に繰り越す利益を表します

貸借対照表

平成29年3月31日(単位:円)

資産の部				負債の部			
科目名	当年度末	前年度末	増減	科目名	当年度末	前年度末	増減
流動資産	199,336,372	188,838,921	10,497,451	流動負債	44,238,927	44,519,685	▲ 280,758
現金	157,182	129,000	28,182	事業未払金	5,974,958	4,289,401	1,685,557
預貯金	133,009,709	124,700,131	8,309,578	その他の未払金	23,896,345	25,615,899	▲ 1,719,554
事業未収金	52,871,834	45,594,531	7,277,303	預り金	835,793	953,155	▲ 117,362
未収補助金	12,544,859	17,602,407	▲ 5,057,548	職員預り金	814,753	928,561	▲ 113,808
介護用品棚卸資産	667,939	688,050	▲ 20,111	賞与引当金	12,717,078	12,732,669	▲ 15,591
立替金	17,071	33,971	▲ 16,900				
仮払金	67,778	89,431	▲ 21,653	固定負債	131,450,900	152,209,950	▲ 20,759,050
その他の流動資産	0	1,400	▲ 1,400	退職給付引当金	131,450,900	152,209,950	▲ 20,759,050
固定資産	437,115,645	458,500,940	▲ 21,385,295				
基本財産	36,650,000	36,650,000	0				
土地	32,650,000	32,650,000	0	負債の部合計	175,689,827	196,729,635	▲ 21,039,808
定期預金	4,000,000	4,000,000	0	純資産の部			
その他の固定資産	400,465,645	421,850,940	▲ 21,385,295	基本金	4,000,000	4,000,000	0
建物	413,640	557,239	▲ 143,599	基本金	4,000,000	4,000,000	0
建物附属設備	25,265	33,685	▲ 8,420	その他の積立金	257,731,607	258,699,109	▲ 967,502
構築物	990,054	1,213,166	▲ 223,112	地域福祉基金積立金	212,834,860	212,834,860	0
車両運搬費	27	922,673	▲ 922,646	人件費積立金	18,373,659	18,373,659	0
器具及び備品	5,609,390	8,003,636	▲ 2,394,246	修繕積立金	17,439,000	18,408,541	▲ 969,541
ソフトウェア	3,045,002	4,872,002	▲ 1,827,000	災害救援基金積立金	3,002,659	3,001,909	750
投資有価証券	9,958,360	9,947,950	10,410	葬祭用具買替積立金	6,081,429	6,080,140	1,289
長期貸付金	1,862,500	1,867,500	▲ 5,000				
退職手当積立基金預け金	120,829,800	135,733,980	▲ 14,904,180	次期繰越活動収支差額	199,030,583	187,911,117	11,119,466
地域福祉基金積立資産	212,834,860	212,834,860	0	うち当期活動増減差額	10,151,964	▲ 33,971,622	44,123,586
人件費積立資産	18,373,659	18,373,659	0				
修繕積立資産	17,439,000	18,408,541	▲ 969,541				
災害救援基金積立資産	3,002,659	3,001,909	750				
葬祭用具買替積立資産	6,081,429	6,080,140	1,289				
資産の部合計	636,452,017	647,339,861	▲ 10,887,844	純資産の部合計	460,762,190	450,610,226	10,151,964
				負債及び純資産の部合計	636,452,017	647,339,861	▲ 10,887,844



学びや体験を地域で活かすことが出来る活動のきっかけづくりとして「夏休みボランティアスクール2016」を市内4会場で初めて実施(H28.8.17 エーガイヤちくさ)

社協経営の見直しと 支え合いふくしプランの 取り組みを推進

宍粟市社会福祉協議会では、6月16日第32回評議員会を開催し、平成28年度の事業報告ならびに決算が承認されました。

平成28年度は、「第3次地域福祉推進計画（愛称・支え合いふくしプラン）」の二年次として掲げた活動を推進しました。

今月号では、平成28年度に社協が取り組んだ活動と決算の概要についてお知らせします。

経営改善で単年度収支が 3年振りに黒字

平成28年度は、前年度の3525万円に上った赤字対策に総力を挙げた一年となりました。

介護報酬の引き下げに加え、在宅福祉サービス全般の利用者の伸び悩みにより介護保険事業が赤字経営に陥ったことなどが影響し、地域福祉財源のあり方や介護保険事業および地域福祉

事業の改善をめざし、**第5期経営検討委員会**を設置し検討を重ねました。この委員会の報告は、今後の宍粟市社協の方向性を示した**経営改善計画**として理事会に提出されました。

また、事務局や事業所では、財政改善に向けて、今できる経費節減や改善策に順次取り組み、法人全体の収支状況は、482万円の減収となりましたが、4412万円の増益となり、3年ぶりの黒字決算（1015万円）とすることができました。

支え合いふくしプランの 一年次(28年度)の推進

平成28年6月に策定した**支え合いふくしプラン**（4か年計画）は一年が経過し、地域包括ケアシステムを宍粟市で構築していくために、「**ほっとかない**」を**合言葉**に、社協の立場で出来ることから実践しました。

10月1日には、たかのす東小学校（千種町鷹巣）を会場に、**第6回宍粟市地域福祉のつどい**を開催し、つながりふくしプランのねらいやポイントの説明を

行い、社協の使命である「地域福祉の推進」について考える機会となりました。

また、支え合いふくしプランを着実に推進するため、**第3次地域福祉推進計画を進める会**を設置し、平成28年度の進捗状況を点検・評価しました。

「新しい総合事業」への 移行に向けて

介護保険制度の改正により、平成29年4月に**新しい総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）**へ移行するにあたり、生活支援体制整備事業を進めていくための新たな職種として**生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）**を宍粟市から委託を受け2名配置しました。

生活支援コーディネーター配置の初年度として、地域の実情や特性を把握しながら、介護保険制度の改正や地域包括ケアシステムの説明等、学習会や座談会など重点的に行いました。

事業・決算報告の詳細は、本会ホームページや本部各支部窓口でご覧いただけます。

（地域支援課長 波多野好則）

「ほっとかない」を合言葉に実践

(事業報告書より一部掲載)

見守り・支え合い活動の推進

市内各自治会で福祉委員、自治会役員、民生委員、女性会等を中心とした福祉連絡会の組織化が進み、ご近所で気になる方や心配な方の見守りや支え合い活動に取り組みました。



福祉連絡会への活動支援
155 自治会 414 万円助成
福祉委員の設置 832 名
福祉委員研修会 265 名

地域に根ざした社協の介護サービス

介護保険事業や障がい福祉サービスの指定事業者として、地域に根ざした社協ならではの「だれもが安心して利用できる介護サービス」を行いました。



居宅介護支援（ケアプラン作成） 5,283 件
通所介護（デイサービスセンター） 7,806 件
訪問介護・居宅介護（ホームヘルプ） 1,976 件
訪問入浴介護（入浴サービス） 906 件
障がい者相談支援センター（計画作成） 406 件

災害に備えた取り組み

災害時にどのように動けばよいのかを常に考え、災害救援ボランティアの養成や災害ボランティアセンター設置訓練など、災害に備えた社協活動に取り組みました。



災害VC設置訓練
市総合防災訓練参加
災害救援V養成講座 15 名

困ったときの相談窓口

各種相談業務を総合化した窓口として、日常生活の中での困りごとや悩みの解決を図るため、介護、福祉、結婚、法律、生活困窮等、あらゆる相談を日常業務の中で受けとめ、専門相談機関と連携して相談・援助を進めました。



無料法律相談 9 回・58 件
介護・福祉相談 346 件

福祉を学ぶ機会づくり

すべての住民が地域の中で自らの果たす役割について、自覚と意欲を持つことができるよう、学校での体験学習をはじめ、自治会や企業等での住民学習会など福祉への理解や関心を高める取り組みを進めました。



学校 13 校・30 教室
地域 14 自治会

誰もが参加できる集いの場づくり

生活支援コーディネーターが、地域の誰もが何らかの役割をもって参加できる集いの場や居場所づくりを提案し、ふれあい喫茶やサロン等で活動を広げてきました。また、新たな集いの場等の立ち上げ経費の一部として赤い羽根共同募金配分金を活用しました。



ふれあい喫茶 125 団体・延 545 回
ふれあいサロン 29 団体・延 123 回
集いの場・居場所づくり応援助成 2 団体

地域福祉のつどいでフォーラムを開催

千種町鷹巣の集落活性化の拠点である「たかのす東小学校（旧千種東小学校）」を会場に『第6回穴粟市地域福祉のつどい』を開催し 230 名が参加しました。



フォーラムでは、住民主体の地域づくりに取り組んでいる「おふくろ工房 波賀・のはら」「鷹巣活性化委員会」「e生活応援し隊」の実践報告があり、参加者全員で共有しました。

支部発の地域福祉活動

4つの支部の福祉活動や運営の活性化をめざすため、支部地域福祉推進委員会を設置し、それぞれの地域にあった福祉活動を展開し、支部の特性に応じた情報としてかわら版（支部だより）を発行しました。



支部推進委員会 13 回
かわら版の発行 8 回

出会いと結婚を促進

婚活セミナーやカップリングパーティーなど企画実施する出会いサポートセンターと、昔ながらの仲人のような婚活応援団である結婚相談員さんによりパートナー探しに取り組みました。



結婚相談所の開設 24 回
婚活イベント 2 回・11 組成立
成婚数 5 組

高齢者の食生活を応援

配食サービス事業は、ボランティアが調理した手作りお弁当をお届けし、孤独になりがちなひとり暮らし高齢者等の見守り活動や生活支援につなぐ重要な役割を担いました。



実施回数 359 回
実利用者数 210 名
延べ配食数 14,296 食

宍粟市社協:平成28年度決算報告

決算の詳細 (事業活動計算書 サービス活動増減の部)

収益〈収入〉について

○介護保険事業収益

居宅介護事業や訪問介護事業で、利用者の増加が期待される山崎支部域に職員を重点的に配置し、経営の強化を図りましたが、平成27年度末の職員の退職等の影響もあり、介護保険事業全体の収益は、前年比で905千円の減収となりました。

○障害福祉サービス等事業収益

相談支援センターゆめぐらんでサービスの計画件数が大幅に増えたことや、障がいホームヘルプサービスへの要望が高いことから、2,148千円の増収となりました。

○寄付金収益

みなさまからお寄せいただく善意銀行への預託は、前年度に比べ1,896千円減少しました。

○会費収益

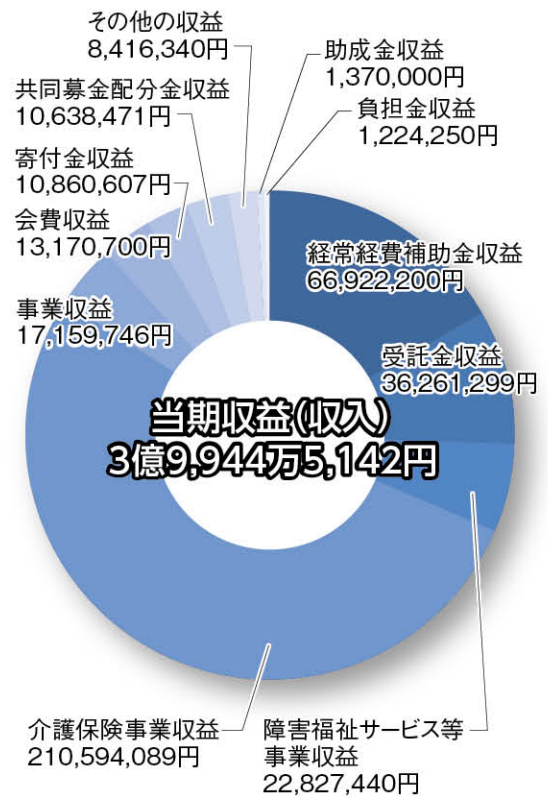
各ご家庭にご協力いただく「社協一般会費」と2月に募集をした「賛助会費」は、前年度とほぼ変わらないご協力をいただきました。

○経常経費補助金収益

平成27年度末で市の補助事業である「外出支援事業」が終了したことなどにより、補助金収益は19,864千円減少しました。

○受託金収益

宍粟市から新たに「生活支援コーディネーター配置事業」を受託したことなどにより、委託金収益は10,309千円増となりました。



費用〈支出〉について

○人件費

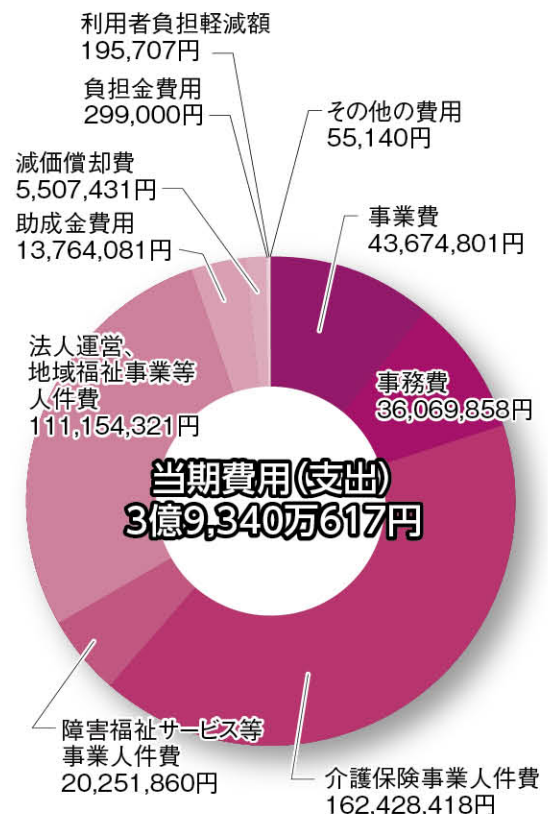
職員108名(平成28年度の状況のうち47名は非常勤職員)の人件費は、費用の約75%を占めています。平成28年度は職員採用を最低限に抑えけるとともに、事業所体制や人員配置の見直しを行ったことで、前年度に比べ38,038千円減少しました。

○事業費、事務費

外出支援事業や通所型介護予防事業(お達者クラブ事業)の終了に伴い、会用車の売却等整理を進めました。また、事務消耗品の購入や業務委託費等内容を精査することで、事業費を5,014千円、事務費を3,862千円削減しました。

○助成金費用

小地域福祉活動に取り組む自治会福祉連絡会には155自治会に4,148千円を助成しました。またボランティアグループへは、125グループに1,660千円の助成を行い、安定した活動ができるよう支援しました。



平成28年度の事業報告書、決算書は本会のホームページでも紹介しています。

また、本部・各支部窓口で閲覧していただくこともできますので、お気軽にお尋ねください。